

ウミガラス保護増殖事業令和6年度実施計画（案）

(1) 生息状況等の把握

① 飛来・繁殖状況の把握

- 繁殖地内カメラや目視等により、飛来数、餌運び、雛及び巣立ち等の調査を実施する。ウミガラス繁殖巣棚内及び巣棚入口にモニタリングカメラを設置する。設置は4月中旬から下旬を想定。
 - ・中央巣棚：ビデオカメラ3台設置。巣内の音声をICレコーダーで録音。
 - ・右側巣棚：ウミガラスの巣棚使用状況をモニタリング。
 - ・巣棚入口：ビデオカメラを1台設置。

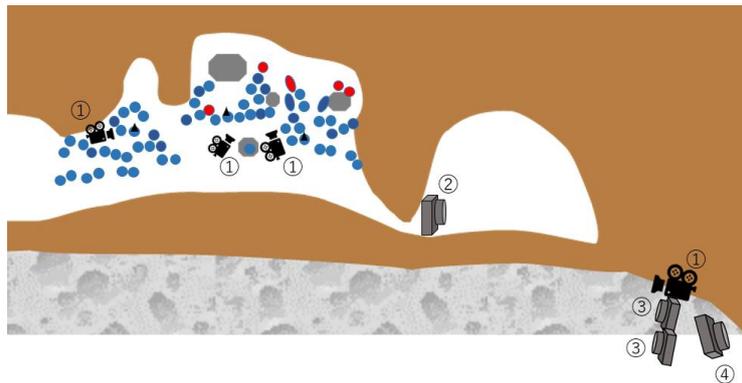


図1 令和5年度繁殖地付近カメラ設置予定図

- ドローンの飛来・繁殖状況の把握への使用可能性を検討する。
 - ・飛来数の把握や巣棚内の状況の確認等。
- モニタリング方法の検討
 - 令和5年度ウミガラス保護増殖検討会の議論を踏まえて今後のモニタリング方法について検討を行う。

② 生態・動態の把握

- 航路センサスによる海上モニタリング継続。
- 足環及びデータロガー装着に向けた検討。下記の事項をウミガラス巣立ち時期に実施する。（実施内容は令和5年度検討会での議論を踏まえて検討）
 - ・巣立ちヒナの標識調査の試行による巣立ち時の行動の把握及び安全な捕獲方法の検討
- 巣棚内残渣の遺伝子解析の継続
 - 卵殻、羽毛に加え、糞便のサンプルなどについても採取を検討。

(2) 繁殖環境の維持・改善

① 繁殖環境の整備

- 中央巣棚にデコイを5体を再設置（令和5年度撤去分）。
 - （※右側・左側巣棚に関してはウミガラスの使用状況を踏まえて対策を検討していく）

② 誘因対策

- 音声装置の稼働。赤岩基部に可能な限り3月中に設置、稼働する。

③ 捕食者対策

- ハシブトガラス対策
 - ・ねぐらでの追い払い対策の実施。

- ・ 巣棚周辺において、エアライフル捕獲に加えて、加害個体の追い払い対策を検討。
- ・ ラインセンサスによる個体数調査
- ・ 巣棚内のビデオカメラ及び巣棚入口にセンサーカメラ1台を設置し、飛来頻度等をモニタリング。

○オオセグロカモメ対策

ウミガラス繁殖地周辺にて、レーザポインターによる追い払いを継続するほか、現地で個体が確認された場合はエアライフルにより捕獲する。

○ドブネズミ

- ・ 巣棚入口にセンサーカメラを設置し、巣棚への侵入状況をモニタリング。
- ・ 巣棚入口にネズミ除けを設置。

④繁殖地周辺対策

- 天売島の鳥獣保護区管理員による監視の実施を継続。
- ウミガラスの誘因対策の調査時などに現地の監視を実施。

⑤採餌範囲における情報収集及び保護対策検討

- SBF 推進協議会により混獲対策のための情報収集体制の検討。

(3) . 飼育下繁殖

葛西臨海水族園等と連携し実施事項を検討予定。

(4) 及び (5) . 普及啓発活動、効果的な事業の推進のための連携の確保

繁殖地内カメラの映像（音声付き）などを活用し、ウミガラスに関するリアルタイムの情報発信を地元関係者、観光施設などと連携して実施し、海鳥保全の普及啓発・地域振興に活用する。

(6) . その他

希少鳥類（ケイマフリ、ウミスズメ）調査

- ケイマフリ前年度に引き続き、個体数調査と繁殖数調査を行う。

○ウミスズメ前年度に引き続き海上個体数調査、繁殖数調査を行う（北海道海鳥センター友の会が助成金を獲得できた場合）。

(表1：令和6年度実施スケジュール（予定）)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
(1) 生息状況等の把握						
①飛来・繁殖状況の把握						
モニタリングカメラの設置		←	←	←	←	←
ドローン試行		←	←	←	←	←
②生態・動態の把握						
航路センサス	←	←	←	←	←	←
足環及びデータロガー検討					←	←
巣棚内残渣の遺伝子解析						←
(2) 繁殖環境の維持・改善						
①繁殖環境の整備(デコイの設置)		←	←			
②音声装置設置・稼働		←	←	←	←	←
③捕食者対策		←	←	←	←	←
(3) 飼育下繁殖	←	←	←	←	←	←
(4)・(5) 普及啓発及び連携の確保	←	←	←	←	←	←
(6) その他(希少海鳥調査)	←	←	←	←	←	←